



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局

Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>

Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 307 号

(創刊 1988.12.14)

2015.04.04.

横環南撤回へスタート その2 3月15日付号外を読んで

3月15日発行の号外に引き続きその後の動きを報告する。市長に直接、協議会の設置を要請したことにより3月20日付で市民局広報相談室を通して市長の回答があった。内容は道路局が作成したもので、全くの「はぐらかし」であり地質学と地震学の3先生の意見書を全く無視し、当方の協議会設置の要請については一切答えず、事業者と引き続き協議をしていくとの安全宣言であった。

3月18日には今期最後の市議会である予算総合審査会が開かれ、岩崎ひろし議員が市長に上記要請書の確認を行った。号外で皆様にお示した「釜利谷側上空から西方を望む」と題した写真パネルを議場全員に示し、市長から「国にもさらに強くご意見を申し上げていきたいと思っております」との回答を引き出した。

これをもとに連協として事業者との質問会を通して、協議会設置を強く要求していく所存である。また環状北線の困難な工事状況を道路局長に説明させ、それを考慮すると南線は予定通りの完成は難しいと言外に言わせた。

なお横浜市選出国會議員20名にも横浜市長宛要請書を3月16日付で送付し、特に栄区選出の浅尾慶一郎議員を直接訪問し状況説明とともに市長への要請をお願いした。

なお12日の記者会見は神奈川新聞のweb版のカナコロにも取り上げられ、田谷出身の沖縄大学の前学長の加藤彰彦さんからは「本当に危険な道路だ」との感想も寄せられた。

ジャーナリストの「まさのあつこ」さんは、後日「朝日論座」へ投稿を寄せるとのことである。その他、連協内にもこの号外への反響は大きく別掲の記事(右ページ)をご覧ください。

このような状況下、3日告示の横浜市議員選挙については良く候補者の主張を聞いて、「連協として如何にあるべきか」の投票を心掛けたいと考えているところである。

皆様方にもよろしくお願ひします。

(会長 比留間)

①近接道路建設問題は、「日野隧道」のみならず「桂台トンネル」、「公田トンネル」、「笠間トンネル」、「桂町トンネル」とすべてのトンネル共通問題である。

そのなかで「日野隧道」は、地域住民のみならず横浜市民全般に影響を与える問題である。したがって連協ニュース号外で取り上げる意味は大きい。特にイラストがすばらしい。百の説明文よりも一葉のイラストがすべてを物語る。なお、他のトンネル近接問題も機会があれば取り上げて欲しい。

(朝日平和台 笹原秀介)

②『危険道路』南線計画は撤回せよ

この主張は正に当を得た重大な意味を持つものであり、大いに声を大にして各方面に主張すべきものと考えます。

庄戸3丁目としましては、この記事をA3版に拡大し、カラー印刷をして道路予定地のフェンスに張り出しました。

但し、如何に正論であっても相手が反応しなければ、「糠に釘」になってしまいます。連協として、事業者側等の意見の確認をしていただくよう御願ひします。

(庄戸3丁目 岩倉正剛)

③トンネル掘削技術は日々進歩しているとは言え、十分に事前検討された工事でも不測の事故が発生していることも事実です。日野隧道と横環南の近接交差については、専門家からも既に問題が指摘されており、万一トンネル工事でライフラインに影響するようなことになると、住民の生活を脅かす重大問題となります。少なくとも事前に提起された懸念事項についての対策は勿論のこと、住民の不安を解消できるまでは、工事を進めるべきではないと考えます。(鎌倉市 三道弘明)

強行に工事進捗を図る NEXCO、 家屋事前調査への対応

3月初旬に NEXCO から上之、コートハウス、西ヶ谷に発進到達立坑の工事着手に伴う家屋事前調査をやりたい旨の話があった。

家屋事前調査とは、工事着手前に家屋（基礎、内部、外部、水回り等）の現況を調査し、損傷の発生が予想される箇所及びすでに発生している箇所について計測・写真撮影等を行うというものである。調査が行われない場合、家屋等の現況が把握できないまま工事を行うこととなり、家屋等への影響を判断することが出来なくなり、工事による亀裂等が生じても補償の対象とならないというものである。

これについて、急遽、3町会でいかに対応するか話し合いを行い、結果、現状において多くの不安、疑問等があるとの観点から 10 項目の質問を文書で NEXCO に郵送した。

上之町環境を守る会はこの件に関し、説明会を 3 月 27 日に開くことを NEXCO に要請し、開催された。説明会当日は 3 町会のほかネオポリスも加わり 30 名ほどが出席した。初めに 10 項目の質問について、NEXCO は文書での回答を強く拒否し、口頭での回答となった。理由としては、文書を出すとその内容ですべてが固定的になり今後、相互間の話し合いに支障をきたす故とのことであった。これに対し住民からは記録を残すためにも文書で回答すべきと強く訴えたが、口頭でも NEXCO として記録を残すので理解して欲しいとのことであった。

10 項目の質問回答の詳細については、後日テープをおこし連協ホームページに掲載することとし、当日のやり取りについて照会する。まず、家屋事前調査範囲を高速道路ぎわから 20m とした理由は、特に基準があるわけではなく、過去の道路建設の事例からであるとの回答であった。これについては、住民から 20m 内ではなく調査希望者すべてを調査すべきとの声があがった。NEXCO は工事がはじまった時振動、騒音が範囲外でも酷いようであればその時点で調査するというので議論は平行線。また、地盤沈下に対する不安の声もあがったが、これも従来からの回答と同じでトンネル工事の安全性のみを強調し、市営地下鉄の事例を以ってこの質問に対しては当時より現在

の技術ははるかに進歩しているので問題ないと豪語した。その他にも住民の不安や疑問が続いたが、住民の多くは納得しかねる回答内容が続き、相も変わらず住民に対するガス抜きの説明会に終始した感はぬぐえないものとなった。

一方、工事が着実に進捗していく現実に向かい、今後いかなる方法で工事を止めていけるかが大きな課題と考えざるを得ない。今後も住民の不安と疑問等を当局に訴え続けることが、なお必要であるとの認識を改めて感じた説明会であった。（西ヶ谷 高村）



（上之町で行われた説明会）

対外活動報告

- 03/03 事業者との質問回答会議（庄戸コミュ）
- 03/06 全国公害被害者総行動「連鎖集会&キャラバン」の神奈川県内取組み第 2 回打合せ（桜木町労働会館、1 名）
- 03/10 横浜市長、国交大臣、NEXCO 東日本社長に『「危険道路」南線計画は撤回を』要請書提出、写しを地元選出国會議員に送付。概要版を市議會議員全員に提出。
- 03/11 公共事業改革市民会議世話人会（半蔵門、1 名）
- 03/12 上記に関し、市庁舎記者クラブにて記者会見
- 03/13 岩崎ひろし議員、横環南線用地収用問題を市議会にて質問（道路等常任委員会）
- 03/18 岩崎ひろし議員、横環南線の危険道路問題を市議会予算員会にて林市長他へ質問
- 03/19 浅尾慶一郎議員事務所訪問（現況と課題の説明、会長）
- 03/20 全国公害被害者総行動「連鎖集会&キャラバン」の神奈川県内取組み第 3 回打合せ（桜木町労働会館、1 名）